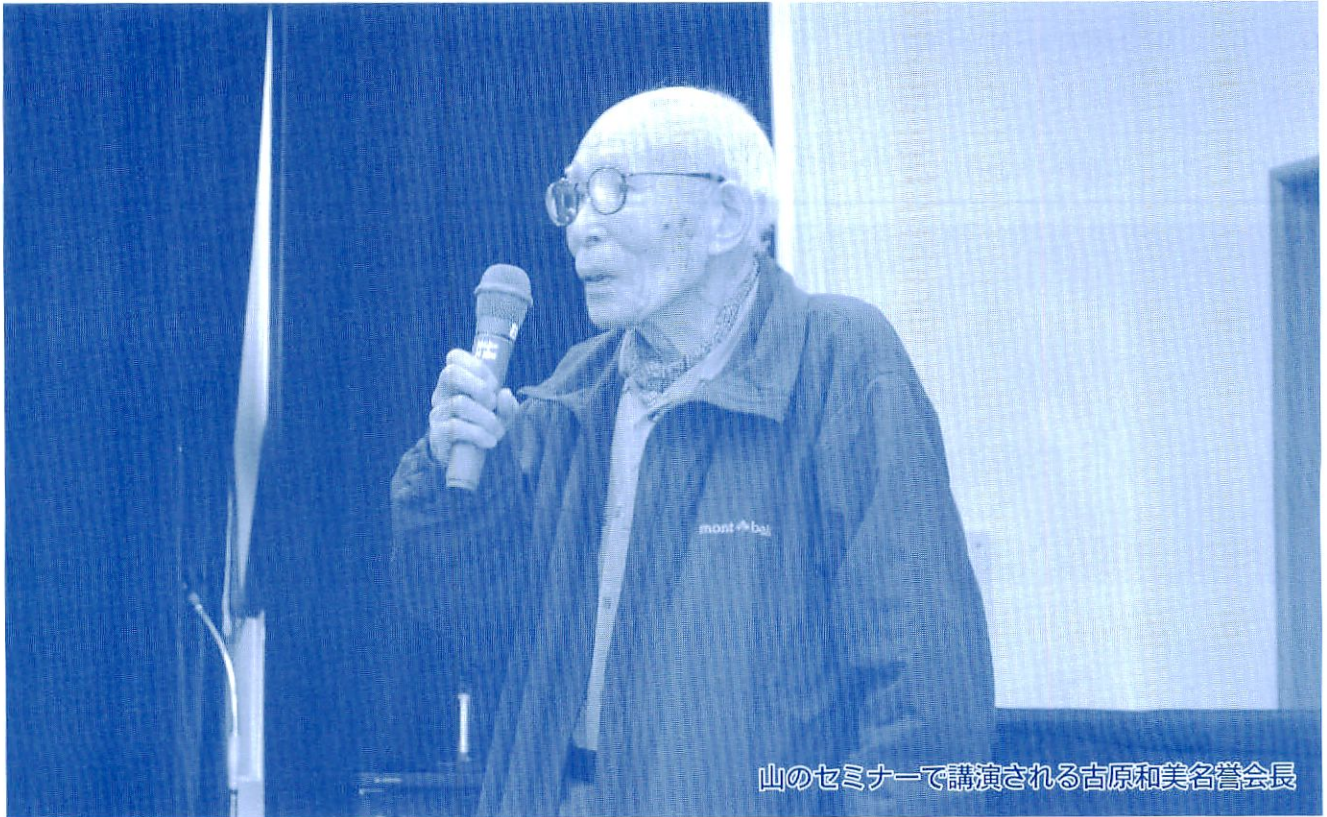


発行者/唐木 眞澄 事務局/河竹 康之 〒399-0701 塩尻市広丘吉田3359 サービス広丘507 TEL & FAX 0263 (57) 0787
印刷所/双葉印刷 編集者/小林 國弘 〒399-8501 北安曇郡松川村5721-1864 TEL & FAX 0261 (62) 0186
長野県山岳協会 HOMEPAGE URL <http://www.nmaj.org/>



山のセミナーで講演される古原和美名誉会長

第7回日本山岳グランプリ 古原和美県山岳協会名誉会長 表彰される

(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会第七回日本山岳グランプリに、長野県山岳協会が推薦した古原和美県山岳協会名誉会長が選ばれ、去る一月十三日に開催された日山協の新春懇談会の席上にて唐木真澄長山協会長が代理で表彰を受けました。

古原氏は、一九二三年(大正十二年)二月、熊本県にお生まれになり、熊本医科大学を卒業した後、一九五六年に長野県大町保健所所長に就任され、以後、豊科保健所所長などを歴任された後、一九九二年に退職されました。その間、信州大学医学部順応生理学教室などで非常勤講師も務められ、また、日本登山医学会の創立にも尽力されました。

一方、一九四二年頃から故郷の傾山・阿蘇山塊で数々の初登攀を記録した後、信州に移られてからは、後立山連峰を中心に先鋭的登山者としても活躍してこられました。また、一九五八年には深田久弥氏らと一人三十万円のライト・エクスペディションをネパールのジューガル、ラシタン・ヒマラヤで実践され、後進に夢と希望を与えました。そして、一九六一年に長野県山岳連盟(当時)の初代会長に就任された後、一九六四年には長野県山岳連盟主体の全日本山岳連盟登山隊を率いてギャチュンカンの初登頂に成功しました。現在でも折に触れ広く登山者の指導に尽力してくださっており、古原名誉会長の国内外での多方面にわたる活躍は極めて大きいものがあります。

表彰は、こうした長年に亘る登山界への多大な功績が認められたものです。なお、古原氏のご意思により、副賞は全額長山協へ寄付されましたことをご報告申し上げます。

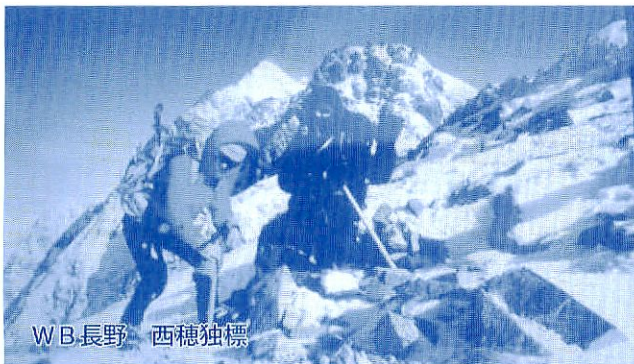
山のニュースは
信濃毎日新聞

信濃毎日新聞ご購入のお申込は ☎0120-81-4341まで

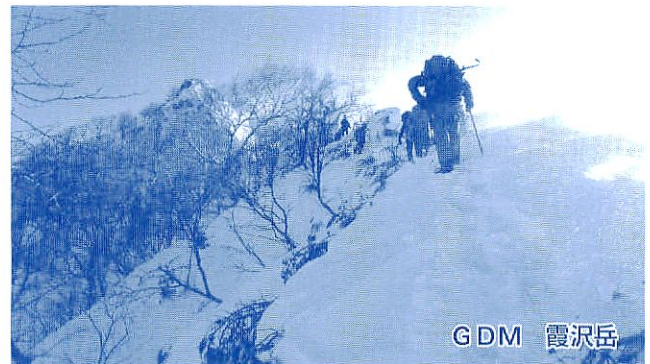
冬山合宿報告

東北信支部

山 岳 会	期 日	山 域	山 形 行 態	参 加 人 数	感 想 な ど
ホワイトバーチ 長 野	1月6日～7日	西穂独標	山頂往復	4	快晴強風。白山まで展望良く、強風とテント泊を楽しんだ。
	1月20日	赤岳南峰リッジ	岩 登 り	2	雪はクラストし露岩は脆かったが、快適。山頂はご褒美の絶景。
G D M	12月29日～31日	霞沢岳	山頂往復	6	好天だが強風で、霞沢岳とした。
中 条 山 岳 会	1月1日	虫倉山	山頂往復	5	想定外の好天にご来光。生き物のような雲海を楽しむ。
マウントブーリー	12月29日～30日	八ヶ岳、広河原沢	アイスクライミング	3	分散合宿となり、八ヶ岳チームは基本技術を確認し、氷を楽しむ。



WB長野 西穂独標



GDM 霞沢岳



中条山岳会 虫倉山



マウントブーリー



槍とともに90年

槍ヶ岳山荘

直通 090-2641-1911

南岳小屋

直通 090-4524-9448

槍沢ロッヂ

直通 0263-95-2626

大天井ヒュッテ

直通 090-1401-7884

お問合せは…☎390-0813 松本市埋橋1丁目7の2 槍ヶ岳山荘事務所 TEL (0263)35-7200・FAX 35-0637

山と山は相連りて美し
山と山は相隣りて美し

双葉印刷(有)

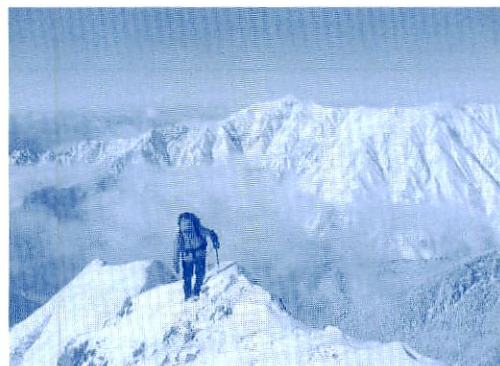
〒390-0807 松本市城東二二二一六
TEL (0263) 3212263
FAX (0263) 3617218

中信支部

山 岳 会	期 日	山 域 / 山 名	山 形 行 態	参 加 数	感 想 な ど
C M C	12月29日~31日	北アルプス/ 奥穂高岳	ピークハ ント	3	涸沢岳西尾根から奥穂高岳を目指しました。白出の コルまで行きましたが、強風のため奥穂登頂は 断念。冬の穂高の素晴らしさと厳しさを体験でき た3日間でした。
松 本 岳 友 会 ラ イ フ & マ ウ ン ト	1月6日~7日	乗鞍岳周辺/ 十石山	ピークハ ント	7	新雪ラッセルと展望が最高でした。
松 本 山 登 会	12月22日~24日	南アルプス/ 甲斐駒ヶ岳 黄蓮谷 左保	アルパイ ン	3 (うち会外 1名)	何年もコンディションとタイミングが合わず行け ていなかったルート。氷結状況、天候、気温、何 をとってもこの上ない最高のコンディション。た だ、想像していたより登攀要素は少ない。
	1月3日	中部山地 美ヶ原	日 帰 り	5 (うち会外 1名)	天気も良く、年明けの初山行を楽しめました。
	1月5日	中央アルプス/ 宝剣岳 サギダル尾根	日 帰 り	3 (うち会外 2名)	あいにくの曇り空でしたが、風も弱く、岩と雪の ショートルートを楽しんできました。
信州大学医学部 山 岳 会 & 松 本 山 登 会	1月6日~7日	富士山	定 着	4 (信大2名、 山登会2名)	ここ数年で最も雪が少なく拍子抜けではありまし たが、風だけは容赦なく、久しぶりに体が浮き上 がる程の強風にテンションMAXまで高まるもの の、大事をとって本八合目で引き返しました。
信州大学医学部 山 岳 会	12月22日~24日	八ヶ岳/ 赤岳主稜・文三 郎尾根	クライミ ング・雪 上訓練	7	赤岳主稜はこの上もない快晴の下で最高のクライ ミングを楽しめました。文三郎尾根の方では赤岳 が初めてのメンバーもいましたが、スムーズに行 動できたと思います。悪天のために最終日に予定 していた石尊稜に行けなかったことが残念でした。
	1月13日~14日	八ヶ岳/ ジョウゴ沢	アイスク ライミ ング	3	アイスクャンディー、ジョウゴ沢とガッツリ登り こんだ2日間でした。特にジョウゴ沢では天候な どにも恵まれ、アイスがメインであったのであ えて硫黄岳のピークは踏まずにナイアガラの滝でひ たすら登り続けました。充実の2日間でした。



松本山登会 サギダル



CMC



信大医学部山岳会 アイスクライミング



松本山登会 黄蓮谷



ライフ&マウント



信大医学部山岳会&松本山登会 富士山

第6回ワイルドターミネーターin八ヶ岳 1月20・21日

指導委員長

中村 和義

指導員会では、更新時講習を兼ねた技術交流会を五月に針の木、九月末に小川山、そして一月に八ヶ岳と計三回実施し、多くの協会員に参加してもらえ行幸となつていま

指導員資格を更新するためには、四年に一度更新時講習を受けないと資格が継続になりませんのでご注意ください。さて、今回開催されたワイルドターミネーターin八ヶ岳は六回目となります。毎年行者小屋の皆様が無理なお願



をし、お安く、そして貸し切りのような扱いにして頂き、本当に感謝しています。本当にありがとうございます。

今年も昨年同様に多くの協会員が集まっていたが、総勢四十三名の参加者があり、賑やかな交流会、講習会になりました。

ところが今年例年より雪が少なく、暖かく感じた八ヶ

指導員資格取得対象者向け事前講習を受講してマウントフリー寺田 愛

今年の事前講習は三つの山岳会から受講生全七名(うち女性四名!)と、昨年に比べるとにぎやかでした。

二日目、講習スタート。まずは移動してワカンの説明、装着方法、歩行方法について。普段、会ではどう説明しているか、受講生みんなで議論をしながら進みました。その後、場所を移動して、二つの班に分かれて歩行練習! 緊張気味に歩行について説明し、足りなかった部分はどうか、もっとこう説明したほうが良いのではないかと議論しました。人にわかりやすく説明するのは、頭の中がちゃんと整理さ

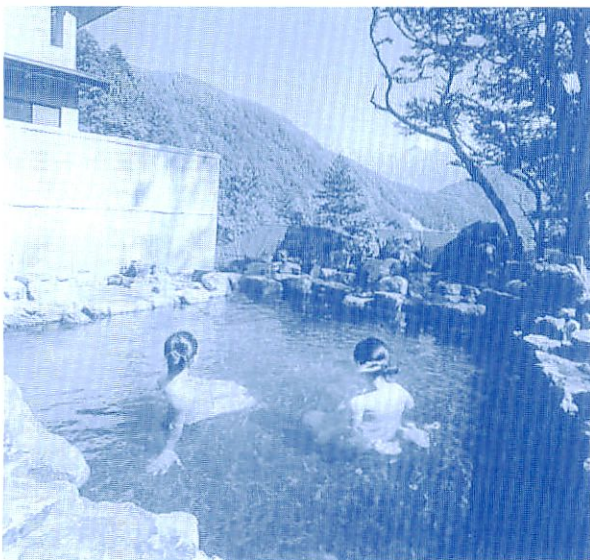
岳で、皆さん「冬の八ヶ岳ではないなあ」と言っていました。

積雪は少なかつたものの、氷雪登攀班、初級班、検定事前講習班(九名)の各班に分かれ、各自が熱心に技術向上に取り組むことができました。次回は五月の針の木交流会です。多数の参加をお待ちしています。

れていると難しい。そして、一番の課題である下りの歩行です。技術的にはまだまだ至りませんが普段の山のために練習あるのみ! 次にスタンディングアックスを説明しながら練習しました。しかし、今年は雪が少なくアックスを雪に埋めるのに一苦労でした。例年の八ヶ岳ワイルディングに比べると、ずっと暖かな日和でした。そのおかげもあり、気持ちは緊張しつつも他の受講生と意見交換することもでき、少し落ち着いて受講出来ました。講師の方々ならびに主催者、行者小屋のみなさま、ありがとうございます。

奥穂高・前穂高を全眺
できる湯けむり館

中の湯温泉旅館



平成10年安房峠中腹に移転。

夏は焼岳登山、冬は上高地の

スノートレッキングの基地として

満喫して下さい。

スノーシュー・XCスキーレンタル有



〒390-1516

長野県松本市安曇中の湯

TEL 0263-95-2407

FAX 0263-95-2514

指導者研修会(冬山)実施報告

長野県山岳総合センター 傘木 靖



遭難対策委員会と指導委員会共催による、山岳総合センター安全登山講座「指導者研修会(冬山)」が、一月二十七日(土)・二十八日(日)の二日間、山岳総合センター及び旧大町スキー場で開催されました。

講師は、山岳総合センターアドバイザーの東秀訓さんです。東さんには、平成二十一年から講師をお願いしており、過去には下記のような内容で研修会を実施してきました。

平成二十一年～二十三年 度
雪崩関係全般について
平成二十四年度
「プロービング+シヨベル」

「雪上における搬送技術」
平成二十八年 度
「雪上における搬送技術」
にウエイトをおいた内容

今年度は、「複数人数が雪崩に遭遇した現場での捜索」にウエイトをおいた内容で研修を行いました。

この「複数埋没」は、雪崩に遭遇しない行動形態をとっていけば本来避けることができます。しかし近年、山岳滑走の普及と特定時期・場所の入山者の集中などで、大規模な雪崩事故の発生も偶発的ではない状況になってきています。かけがえのない命を救うために、指導者としてこの問

題に取り組む必要性を感じ、研修を深めることにしました。

一日目は、雪崩全般についての講義の後、複数人数が埋没した際のビーコンの反応について実技を通して確認しました。

二日目は、旧大町スキー場に場所を移して、実際にビーコンを六台埋没させ、より実践に近い形での訓練を繰り返しました。

講習後のアンケートには、下記のような山岳会会員の声がありました。

・雪崩対策関係の内容を、毎年テーマを決めて研修を深め数年にわたって継続してきたことで、雪崩全般に対する理解が深まった。

・所属の山岳会では学ぶことができない内容について研修を深めることができた。

・この研修会で学んだことを、ぜひ所属山岳会でも広めていきたい。

・定期的に雪崩関係の研修会をもちたい。所属山岳会の会員間の雪崩に対する意識レベルがまちまちだと、会の中での研修も難しいと思う。

今回は、山岳総合センター



<http://www.nishiitoya.com/>

E-mail info@nishiitoya.com



〒390-1516 長野県松本市上高地
TEL 0263-95-2206
FAX 0263-95-2208

冬期事務所 (11月中旬～4月中旬)

〒390-0303 長野県松本市浅間温泉3-26-10
TEL & FAX 0263-46-1358

山のセミナー

事業部
佐伯和人

主催で研修会を実施しましたが、遭難対策委員会と指導委員会が中心となって、いくつかの山岳会合同の研修会を

実施するのも一つのやり方ではないかと思えます。雪山、そして冬山を本格的に楽しむ者は、雪崩に対する

知見を常に高めることを意識することが必要だと、改めて感じさせる研修会でした。

二〇一七年度山のセミナーを二〇一八年二月四日に開催しました。ここ数年は、松本市あがたの森文化会館で開いており、定着した感もあります。今年は五十五名の方に参加していただきました。

国までの体験についてユーモアを交えつつ話していただきました。意思があれば道は開けるということが、とても印象に残りました。

先日、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会にて第七回日本山岳グランプリに選ばれました。その表彰楯の授与をこの場を借りて行いました。おめでとうございます!!

今回は、図らずも新旧三つのヒマラヤ登山を比較する機会を得ることができました。一つ目は、大町山の会・榛葉伸男氏の「Makalu 8,463m 登頂」で、やまなみNo.二二五にも寄稿されていますので、お読みになった方も多いかと思えます。国際公募登山隊に参加され、出発から登頂、帰

二つ目は、古原和美名誉会長に昭和三十三年のネパールヒマラヤ登山の様子についてのスライドを交えてお話しいただきました。『日本百名山』著者の深田久弥氏と一緒に行った海外登山の様子では、当時のカトマンズはとても静かだったそうです。行くだけでも船を使って二ヶ月近くかかったなど、現在の違いを感じました。古原名誉会長は、

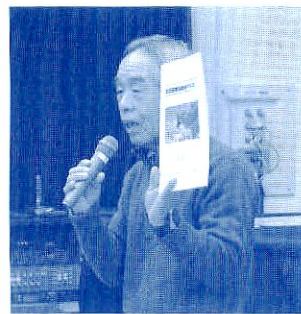
三つ目は、未踏峰「雪拉普崗日(シュエラプーカンリ)合同登山」の取り組みを副会長の杉田浩康氏に話していただきました。西蔵登山協会との合同登山であり、科学的手法を使った新しい試みをいくつも取り入れようとしている興味深い内容でした。Google Earthを使ったルートの事前確認、気象ソフト、また高所順応の対応のため低酸素室の使用など。来年の山のセミナーでは、貴重な報告が聞けそ



榛葉伸男氏



杉田浩康氏



小林貞幸氏

うです。

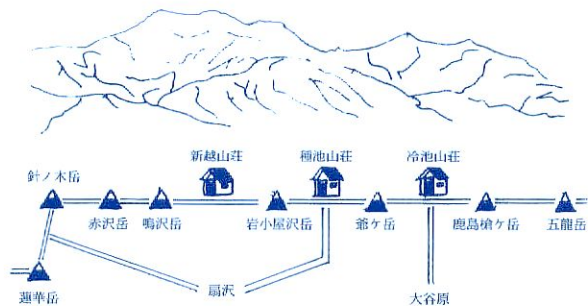
他には、「那須雪崩事故検証委員会」の提言」として理事長の大西浩氏にお話しいただきました。昨年三月二十七日に発生した痛ましい事故は皆さんも記憶に新しいと思います。検証委員会では新聞、TV等で報道されているようなことだけでなく、深く掘り下げられて、事故の経緯、再発防止の提言がなされていることを話していただきました。二

の登山者の方に、ぜひ読んでいただきたいとのことでした。最後は、自然保護委員の認定・更新時講習を自然保護委員長小林貞幸氏に行っていたいただきました。自然保護指導員の仕組み、関連する法律、憲章などの基礎的なことを講義していただきました。今年度のセミナーはいかがだったでしょうか？ どの講演も充実した内容だったかと思えます。また、ご意見、ご要望がありましたら事業部までお寄せください。

— 中部山岳国立公園 — 北アルプス

爺ヶ岳 (2669m) & 鹿島槍ヶ岳 (2889m)

2004年夏 冷池山荘全面リニューアルオープン!



新越山荘 — 種池山荘 — 冷池山荘

連絡先 大町市平借馬5328 柏原 正 泰
TEL 0261-22-1263

全国高校生クライミング選手権に出場して

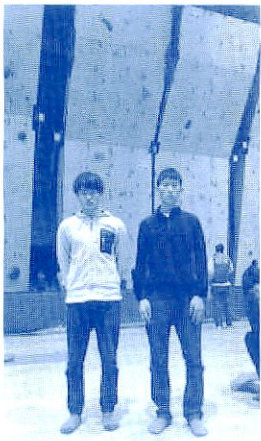
※ 岡本 怜大

十二月に埼玉県加須市で行われた全国高校生クライミング選手権には昨年にも出場しており、昨年よりも良い成績を残すことを目標に出場しました。また、世界でも活躍するほどのレベルの高い選手も出場しているの、クライミングの技術を学ぶ良い機会だと思ひ、挑みました。

昨年の順位を上回るよう予選突破を考え一本目を登りましたが、緊張により力が抜けず、目標にしていた高度まで登る事が出来ませんでした。

二本目は、一本目ほど緊張せず自分の思うように登ることができ、自分の目標としていた高度まで登ることができましたが、あまり良い成績ではありませんでした。

結果は昨年より順位を上げ



ることができず、悔しさが残る結果となりましたが、レベルの高さと自分の実力不足を改めて感じ、技術の向上とメンタルを強くする必要がありますと感じる大会となりました。決勝を観戦することで刺激を受けるとともに、クライミングの競技としての素晴らしさを感じました。

これからは、この大会で学んだことを意識して、自分のレベルアップに繋がるように日々努力し、クライミングを続けていきたいです。

※ 尾崎麟太郎

昨年に続き二年連続で長野県代表となった僕は、昨年怪我の影響もあり果たせなかった準決勝進出を目標に、大会に臨みました。

予選は高さ約十三メートルの壁に設定された二本のルート

トをそれぞれ一回登り、二本の成績を合わせた結果で順位が出ます。また、準決勝に進めるのは百十数人中二十六名でした。

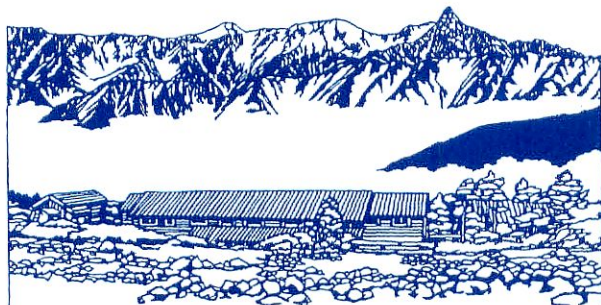
まず予選一本目、下

部で体力を消耗しないように早く登ることを意識して登りました。最終ホールドまであと四手というところで落ちてしまい、順位は二十九位となりました。次は良い順位を取らないと準決勝に進めません。二本目の壁は一本目に比べて傾斜が緩やかなものの、傾斜している部分が長く、じわじわと体力を吸い取られていくような壁でした。僕はゴールまで十手近くを残し落下。三十一位という順位になってしまいました。

総合成績は二十九位。わずかな差で準決勝進出を逃してしまいました。昨年同様の負け方はとても悔しかったのですが、準決勝には進めなかったものの、同じ県代表の怜大君と情報交換をしたり、上位選手の登りを見たりするなど、刺激の多い大会となりました。

また、今回高校から引率としてきてくださった長山先生をはじめ、出場をサポートしてくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

槍・穂高に乾杯



日本百名山 常念小屋 Mt. Jōnen 2,857m
JAPAN ALPS

松本事務所／松本市沢村 1-11-18 〒390-0877 TEL 0263-33-9458
山のおり進呈 (送料不要) 山小屋直通 TEL 090-1430-3328

フリークライミング、アルパインの練習はもちろん、登山、沢登り、レジャー、基礎体力向上にも！
初心者歓迎！老若男女、誰々も楽しめます！

Climbing Center ARTWALL

平日 13:00-22:00
土 10:00-22:00
日祝 10:00-20:00

長野市真島町川合 189-1
TEL 026-284-8136
URL <http://artwall.jp>

その他にも、クライミング施設の設計・施工
ホールド販売 etc. お気軽の御相談ください！



心と学びの山 空木岳・山小舎物語

駒峰山岳会 後藤 寛

平成十年には二代目ヒュッテが建設され、石室の管理から六十年の歳月は、会員の心と学びの山となつていきます。

空木平の石室

昭和初期に赤穂町(現駒ヶ根市)青年会の有志らにより建てられた石室は、東西二間半・南北二間程の大きさで、南入口と東側に炊事場と明り取りがあつて、登山者十五人も入れば満室となり、小屋番は軒の無い入口か炊事場で雨合羽を被り寝ていました。

四十四年、初代ヒュッテが建設されるまでの十一年間、空木平の高山植物に囲まれ、稜線にはない居心地と牧歌的で楽しく安らぎの石室でした。

初代空木駒峰ヒュッテ

昭和三十年代の第一次登山ブームで地域や職場、学校等に多くの山岳組織が生まれ、無雪期から積雪期未踏ルートに多くの仲間が入山・熱中をした時代、一方で多くの遭難事故が発生しています。

三十八年の正月に空木岳で発生した、京都工芸繊維大学山岳部の遭難事故は、会にとつても大きな出来事でした。年末の二十三日に木曾倉本

から入山し、東川本谷を廻行した同隊は、空木岳登頂後に伊那側の大田切本谷を駒ヶ根へ下山する計画でした。

しかし、後発隊の事故発生と荒天のため空木岳で一週間以上の停滞後、七日頃、誤つて丸山尾根に入り遭難したものと思われています。

正月合宿後の七日に五人の会員と駒ヶ根署員一人で向かった救助隊は、八日に空木岳南稜にて無人テントを見つけますが、遭難者二人は発見できず、凍ったメモ等を持って後発隊と合流後、池山小屋泊で下山します。二人は四月末に中田切谷で発見されます。

同年夏、同大学、交流ある信州大学、東京農工大山岳部員らによる追悼登山が行われ、丸山尾根上部の中田切谷を望める岩に遭難碑が建立されました。

中ア救助隊発足前から救助活動を担ってきた我が会は、この事故直後の一月半ばに、隊員の補償制度、山岳会本来の活動等を事由に、救助隊を全員が脱退し、山岳界、世間に話題を投げかけました。

こうした長年の救助活動と石室の管理、稜線の避難小屋の必要性を唱えてきた結果、「山岳会の小屋建設と管理」

が認められ、多くの建設資材は会員の背で荷上げがされ、四十四年夏に長年の念願であつた「空木駒峰ヒュッテ」が建設されます。

一方、時は高度経済成長期、会社員などに変身した会員の小屋番は、一週間も毎日小屋から職場へ通う者もあつて、会の運営も難しい時期が長いこと続きました。

二代目空木駒峰ヒュッテ

平成十年、老朽化が進んだ旧ヒュッテは、会員の知恵と技術、多くの山岳愛好者各位のご支援を受け、明るく快適な新ヒュッテが建設され、現

会員の情熱とご苦労によって管理がされ、多くの登山者の皆さんに、安全で安心な小屋として利用されています。

私たちの思い

山と仲間、空木岳を愛し、石室と二つのヒュッテ建設・管理に情熱を注ぎながら、若くして他界した四人の会員、三十八年夏、遭難碑建立翌日大田切橋上事故で亡くなった二十五歳の石工Mさんの思いを引き継いで、空木岳の自然を守り、登山者の安全と皆に愛される山小舎管理を目指すことを、改めて全会員で誓う次第です。

登山・クライミング・キャンプ
カヌー・テレマーク・山スキー



山とスキー専門店 **ブンリン**

松本市中央2丁目7の14
TEL & FAX 0263-33-3633
営業時間 10:00~19:30 (日曜祝日 10:00~18:30)
定休日：水曜日

長野県山岳協会 業務短信

- 【12月】 ☆13日 中信支部幹事会⑤
☆16日～17日 伊那支部・雪上技術訓練
☆19日 第4回理事会
☆23日～24日 高校選抜クライミング大会 (埼玉)
- 【1月】 ☆10日 チベット登山実行委員会 (豊科)
☆18日 東北信支部幹事会④
☆13日 諏訪支部新年会
☆16日 日山協自然保護常任委員会・新春懇談会 (唐木・森山)
☆20日～21日 第6回ウィンターミーティング (行者小屋周辺・40名参加)
☆27日～28日 指導者研修会〔冬山〕 (山岳総合センター・16名参加)
☆28日 チベット登山実行委員会 (山岳総合センター)
- 【2月】 ☆4日 山のセミナー (松本・あがたの森 55名参加)
☆8日 諏訪支部幹事会⑥
☆10日 日山協ジュニア情報交換会 (東京・大西)
☆11日 日山協・全国理事長会議 (東京・大西)
☆13日 第5回理事会
☆18日 伊那支部・冬山交流会
☆24日 指導常任委員会・指導委員会総会 (17名参加)

- 【3月】 ☆3日～4日 東北信支部・雪山交流会
☆6日 伊那支部定期総会
☆10日 諏訪支部定期総会
☆10日 やまなみ228号発行
☆13日 東北信支部定期総会

今後の予定

- 【3月】 ☆14日 中信支部定期総会
☆23日 第6回理事会
- 【4月】 ☆7日 第7回理事会
☆8日 第59回定期総会
☆14日～15日 全日本山岳スキー競技大会 (梅池)
☆19日 諏訪支部幹事会①
☆17日 伊那支部幹事会①
☆18日 中信支部幹事会①
☆27日 東北信支部幹事会①
- 【5月】 ☆18日～19日 南信地区高等学校体育大会 (八ヶ岳・天狗岳)
☆12日～13日 第18回雪上技術交流会 (針ノ木雪渓)
☆26日～27日 第54回指導員検定会
☆31日～6月2日 長野県高等学校体育大会
- 【6月】 ☆3日 ジュニア登山教室① 「スポーツクライミング」
☆3日 物見の岩清掃
☆10日 やまなみ229号発行

松本にあります。登山用品専門店。



潤沢スキー開催決定! 6/1(金)～3(日)

オンラインショップ24hrオープン! こだわりのアイテムと充実の品ぞろえをネットから!

カモシカ 通販



詳細はお問い合わせください。



カモシカスポーツ

http://www.kamoshika.co.jp/

- 山の店・本店 TEL 03-3232-1121 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-28-6・2F
 - 山の店・横浜店 TEL 045-440-0711 〒220-0011 神奈川県横浜西区富島2-6-32横浜東口・ウィズポートビル1F
 - 山の店・松本店 TEL 0263-48-2424 〒390-1242 長野県松本市和田4478-1
- OPEN 11:00 (松本店のみ10:30) CLOSE 20:00 (月～金) / 19:30(土日祝)

決算 SALE 15%OFF!

3/1(木) > 3/31(土)

スタッフ・アルバイト募集中! あなたの山の経験が仕事に活きます。★詳しくはホームページをご覧ください。

長野県山岳総合センター 2018(平成30)年度 主催講習予定 一覧表

2018(平成30)年度に計画している講習会の一覧です。

センターの講習は、自然や歴史を知り、山をもっと楽しむための「野外活動講座」と安全登山の知識・技術を体系的に学べる「安全登山講座」の二本立てです。

講習によっては、長野県山岳協会の割引などがあります。

参加を希望される方は長野県山岳総合センターにお問い合わせください。

TEL:0261-22-2773

Fax:0261-22-5444

E-mail: info@sangakusogocenter.com HP: www.sangakusogocenter.com



★ 野外活動講座

■ “信州”山の自然楽講座

講習番号	講習名	日程	講習内容	受講対象
A1	ライチョウを観察し、生態を学ぼう (in立山)	6/23(土)~24(日)	立山・室堂で、ライチョウを観察しその生態について学ぶ	一般登山者
A2	花と昆虫 その共生を学ぶ (in針ノ木雪渓)	7/18(水)~19(木)	針ノ木谷を登り、花と昆虫の共生について学びながら自然環境を総合的に考える(1日目は座学)	一般登山者
A3	白馬三山、その誕生のヒミツに迫る!	9/28(金)~30(日)	白馬岳、杓子岳、白馬鑓ヶ岳に登り、白馬三山はどのようにしてきたか、その誕生の秘密に迫る	一般登山者

★ 野外活動講座【小学生、中学生対象】

■ わくわくチャレンジ教室(小学生・中学生対象)

B1	教室① クライミングに挑戦だ!	6/3(日)	小学生・中学生対象のスポーツクライミング教室	小学生・中学生
B2	教室② in高瀬渓谷 湯俣で足湯に入ろう	7/21(土)	高瀬ダムから片道6キロを歩いて湯俣へ 自然に湧き出る温泉で、足湯や温泉ゆで卵づくりを体験	小学生
B3	教室③ 親子スポーツクライミング教室	8/4(土)	小学生・中学生及び保護者対象のスポーツクライミング教室	小・中学生及び保護者
B4	教室④ 中学生登山教室	8/25(土)~26(日)	中学生対象の登山教室 種池山荘泊で爺ヶ岳に登る	中学生
B5	教室⑤ in高遠 アウトドアでわくわくチャレンジ	10/20(土)~21(日)	国立信州高遠青少年自然の家泊まって、オリエンテーリングや野外炊飯を楽しむ 守屋山登山にも挑戦	小学生

★ 安全登山講座【コースで一括募集】

■ 夏山入門コース *GW明けから一括募集

C1	Step1 夏山登山の基礎知識	6/16(土)~17(日)	登山の基礎や夏山登山に向けての読図や気象、登山の生理学等を、座学と日帰り登山を通して学ぶ	夏山初心者でコースでの受講が可能な方
C2	Step2 入門!爺ヶ岳登山	7/7(土)~8(日)	無雪期登山の基本を、1泊2日の小屋泊登山を通して学ぶ	
C3	Step3 実践!烏帽子岳登山	7/21(土)~22(日)	無雪期登山の基本を、1泊2日の小屋泊登山を通して学ぶ	
C4	Step4 チャレンジ!槍ヶ岳登山	8/24(金)~26(日)	無雪期登山の基本を、2泊3日の小屋泊登山を通して主体的・総合的に学ぶ。	

■ 冬山入門コース *10月中旬から一括募集

D1	冬山登山の基礎知識(机上講習)	12/1(土)~2(日)	冬山登山に向けて、装備、気象、雪崩対策等を学ぶ	冬山初心者・夏山テント泊経験者でコースでの受講が可能な方
D2	初めての冬山日帰り登山	1/12(土)~13(日)	冬山登山に向けての実践的な技術・知識を、八方尾根日帰り登山を通して学ぶ	
D3	初めての冬山テント泊登山	2/2(土)~3(日)	ラッセルとテント泊や雪洞づくりを、鹿島槍スキー場北方の黒沢尾根登山を通して学ぶ	

■ 岩登り入門コース *GW明けから一括募集

E1	初めての岩登り	6/30(土)~7/1(日)	基礎的な岩登りの知識や技術を学ぶ	岩登り初心者でコースでの受講が可能な方
E2	岩登りの実践 I	7/28(土)~29(日)	岩登りの知識や技術を確実なものにし岩登りの実践を積む	
E3	岩登りの実践 II	8/11(土)~12(日)	岩登りの知識や技術をより確実なものにし、さらに岩登りの実践を積む	

■ リーダーコース *前年度の2月初旬~3月中旬に一括募集

F1	開講式 残雪期登山の基礎	4/28(土)~30(月)	リーダーコースの内容を知るとともに、安全登山の考え方を学ぶ 残雪期登山の基本と雪上技術を身に着ける	別途要項に記載の受講要件該当者
F2	残雪期登山の応用	5/19(土)~20(日)	残雪期登山の基本的技術(確実な歩行、雪上で必要なロープ操作)を習得する	
F3	危険個所の通過技術	7/14(土)~16(月)	無雪期登山の基本と、危険個所の通過技術を学ぶ	
F4	登山のリスクとその対処 I	9/15(土)~16(日)	行動中の安全管理と危急時対応方法を学ぶ	
F5	登山のリスクとその対処 II	10/6(土)~8(月)	危険個所の通過技術と、危急時対応を実践的に学ぶ	
F6	冬山登山の計画	12/8(土)~9(日)	冬山登山の基本と、冬山における危急時対応について学ぶ	
F7	冬山登山の実践	2019年 2/8(金)~11(月)	冬山テント泊及び雪洞泊の登山を実践し、冬山における総合的な判断力を養う	
F8	修了講習 閉講式	3/9(土)~10(日)	コースの総括として登山を実践するとともに、リーダーとしての自覚と責任を再認識し、今後の安全登山につなげる	

★ 安全登山講座【都度募集するもの】

■ 各種単発講座 * 講習実施日のおよそ2ヶ月前から募集開始

講習 番号	講習名	日程	講習内容	受講対象
G1	初めての スポーツクライミングA	4/14(土)	スポーツクライミングの基本を、山岳総合センター人工岩場で学ぶ	初心者(高校生以上)
G2	ステップアップ・ スポーツクライミングA	4/15(日)	スポーツクライミング経験者が、リードクライミング技術を、山岳総合センター人工岩場で学ぶ	経験者(高校生以上)
G3	雪山登山はじめての一步 in八方尾根	4/21(土)~22(日)	雪上歩行の基礎やピッケル・アイゼンの使い方、雪崩対策を八方尾根登山を通じて学ぶ(センター泊)	夏山経験者で雪山初心者
G4	【基礎】雪上技術講習 in針ノ木雪渓(センター泊)	5/12(土)~13(日)	雪上歩行技術、アイゼン歩行技術、ピッケルの使い方を、針ノ木雪渓で学ぶ(センター泊)	夏山経験者
G5	【実践】雪上技術講習 in針ノ木雪渓(テント泊)	5/19(土)~20(日)	雪上歩行技術、アイゼン歩行技術、ピッケルの使い方を、針ノ木雪渓を登りながら学ぶ(テント泊)	夏山テント泊経験者
G6	【基礎】雪上技術講習 in針ノ木雪渓(1日)	5/23(水)	雪上歩行技術、アイゼン歩行技術、ピッケルの使い方を、針ノ木雪渓で学ぶ(平日1日講習)	夏山経験者
G7	夏山登山の基礎知識(机上講習)	6/9(土)~10(日)	夏山登山に向けての基礎・基本を机上で学ぶ	一般登山者
G8	初めての スポーツクライミングB	9/1(土)	スポーツクライミングの基本を、山岳総合センター人工岩場で学ぶ	初心者(高校生以上)
G9	山でのピバーク技術と 緊急時対応を学ぼう	9/1(土)~2(日)	危急時対応の仕方を、山でツエルトを利用したピバーク泊登山を通して学ぶ	一般登山者
G10	ステップアップ・ スポーツクライミングB	9/2(日)	スポーツクライミング経験者が、リードクライミング技術を、山岳総合センター人工岩場で学ぶ	経験者(高校生以上)
G11	基礎から学ぶテント泊入門	9/8(土)~9(日)	テント泊の基本的な知識・技術を学ぶ。また、テント泊登山時の食糧計画、調理法やコツについても学ぶ。	一般登山者
G12	登山者のための歩き方講座	9/8(土)~9(日)	理学療法士の指導を受けながら、ひざや腰を痛めない効率的な歩き方や、身体のケア方法を八方尾根登山を通して学ぶ	一般登山者
G13	地図読みの実践	10/20(土)~ 21(日)	地図読みの基本と、地図とコンパスを使った現在位置の確認の仕方を実践を通して学ぶことにより、積極的に地図を使えるようにする。	一般登山者
G14	岩登りのリスクとその回避	11/3(土)~4(日)	岩登りの危険を知り、その回避および基本的な対処方法を学ぶ	岩登り入門 コース修了者
G15	スポーツクライミング 安全技術講習会	11/17(土)~ 18(日)	スポーツクライミングの指導的な立場の方が、最新の装備や知識、技術を学ぶ	指導的な立場の方
G16	冬山登山の基礎知識(机上講習)	12/1(土)~2(日)	冬山登山に向けての装備や気象、雪崩対策を机上で学ぶ	夏山経験者
G17	冬山登山はじめての一步 inハケ岳	12/15(土)~ 16(日)	冬山登山の初心者が、初冬の小屋泊登山を通して、基本的な道具の使い方や雪上歩行の基本を学ぶ	夏山経験者 65歳以下
G18	雪山のリスクとその回避	2019年 1/26(土)~27(日)	雪崩・雪庇などの雪山の危険を知るとともに、ピバーク泊の知識と技術を実践を通して学ぶ	雪山テント泊 経験者 65歳以下
G19	冬山登山の実践(雪洞泊)	2/16(土)~17(日)	冬山登山における様々な雪洞構築の方法を実践を通して学ぶ	冬山テント泊 経験者 65歳以下

■ 登山体力セルフチェック

H1	あなたの登山体力、 知っていますか?	4/25(水)(夕方)	自分の実力にあった山登りをするために、「山のグレーディング」と「体力のグレーディング」を知る方法を学ぶ	一般登山者
H2	登山体力セルフチェック in 美ヶ原	5/27(日)	美ヶ原を登って自分の登山体力を確かめる	一般登山者

★ 安全登山講座【指導者対象】

■ 指導者対象講座

R1	指導者研修会(岩登り)	10/13(土)~ 14(日)	安全な岩登りの考え方やその指導法を、実践的に研修する	山岳会指導者 リーダーコース 修了者
----	-------------	--------------------	----------------------------	--------------------------

★ 安全登山講座【学校教職員、高校生対象】

■ 学校集団登山引率者対象講座

P1	学校登山お役立ち講座A(松本)	5/15(火)	学校登山に役立つ医療の知識を専門家から学ぶ ○登山前に準備しておきたいこと	学校教職員・ ガイド
P2	学校登山お役立ち講座B(諏訪)	5/25(金)	○登山中の疾病、外傷に関する知識	学校登山に関 わる医療関係 者
P3	学校登山お役立ち講座C(塩尻)	6/12(火)	・高山病、熱中症、低体温症、ダニなど ・怪我(擦り傷、切り傷、捻挫など)	

■ 高等学校対象講座

高校スポーツクライミング教室A	8/8(水)	高校山岳部部員・山岳部顧問が、スポーツクライミングを、山岳総合センター人工岩場で学ぶ	高校山岳部員・顧問
高校スポーツクライミング教室B	8/9(木)		
高校スポーツクライミング教室C	8/10(金)		
長野県高等学校登山研修会(予定)	調整中	高校山岳部顧問が、登山の基礎知識や、安全に活動するための知識・技術について学ぶ	高校山岳部顧問

世界中の山々でご活躍の長野県のみなさまへ 神々の国ネパールはいかがですか

ごあいさつ

弊社は創立以来、登山隊、調査隊、撮影隊などへのサポートやトレッキング、各種観光旅行の手配に、多くの方々のご支持をいただけてきました。今後ともお客様にご満足頂けますよう努めて参りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。遠征隊、登山隊につきましては大津二三子と奥田仁一が担当させていただきます。日本語でお気軽にお問い合わせください。

登山隊取扱い実績

- ・メジャーエクスペディション (ネパール政府許可峰と中国への登山隊) 297隊 (2011年末現在)
- ・ライトエクスペディション (ネパール山岳協会許可峰) 354隊 (2011年末現在)

コスモトレック&トラベル株式会社

PO. BOX 2541 Lazimpat Kathmandu, NEPAL Tel: +977-1-4416226, 4411437 Fax: +977-1-4415275
E-mail: fumi@mos.com.np (日本語) cosmo@mos.com.np (英語) http://www.cosmotrektravel.com



<http://www.nmaj.org> がリニューアルされました。
協会員の投稿を募集しています。

楽しい登山の写真とコメント、登山に関わるローカル情報等々の投稿で、充実したホームページを創り上げて行きたいと考えます。投稿方法はメールでお問い合わせください。なお、ホームページの全体構成を考慮したうえで掲載を決めますのでご了承ください。

アルパインツアーなら、きっと愉快的な山仲間に出会えます



ツアーカタログをご請求ください

「世界の山旅・辺境の旅」各種カタログご希望の方は
下記ホームページ、メールまたは問い合わせ先まで
ご請求ください。無料でお送りします。

アルパインツアー **検索**

HP www.alpine-tour.com

✉ info@alpine-tour.com

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第490号(第1種)

一般社団法人 日本旅行業協会 正会員 旅行業公正取引協議会会員 ボンド保証会員

アルパインツアーサービス株式会社

●お問い合わせ・お申し込み

東京 / 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 (第7東洋海幸ビル4階) ☎03 (3503) 1911
大阪 / 〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-3 (TCF肥後橋ビル2階) ☎06 (6444) 3033
名古屋 / 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-2 (第3千禧ビル3階) ☎052 (581) 3211
福岡 / 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-2-8 (セントラルビル5階) ☎092 (715) 1557

総合旅行業務取扱管理者 亀田広明(東京)・大島義広(大阪)・中川元宏(名古屋)・渡部秀樹(福岡)